



### 仏教の聖地④

涅槃の地：クシナーラー（筆者撮影）

釈尊が八十年の生涯を終え涅槃に入られた地は、インドのウッタールプラデーシュ州にあるクシナーラー（クシナガル）です。当時マツラ族の国の都市だったといわれています。

七世紀にこの地を訪れた三蔵法師玄奘は、「拘尸那揭羅國は城郭崩れ落ち、村・里はさびれている。遠からずして沙羅林に至る。四本の樹が特に高い。如来が寂滅された所である。その大きな煉瓦造りの精舎の中に如来の像が作つてある。頭を横臥している」と記録しています。現在は、沙羅（サーラ）の樹の奥に見える涅槃堂と呼ばれる建物（写真中央手前）があり、堂内には一八七六年に発掘・修理された長さ約六メートルの涅槃像（五世紀）が横たわっています（写真右下）。

釈尊のご遺体は、マツラ族によってマクダハンダナ（天冠寺）という祠堂に安置された後、火葬されました。その場所は現在、ラーマパール塚と呼ばれており（写真左下）、涅槃堂と同様、世界各地より多くの仏教徒が参拝に訪れています。

釈尊入滅の様子を伝える「マハーパリニツバーナ経」（『ブツダ最後の旅』岩波文庫）では、釈尊が仏弟子アーナンダに以下のようなことを伝えておられます。

アーナンダよ。信仰心のあるまじめな人が実際に訪ねて見て感激する場所がある。その四つとは、「修行完成者はここで生まれになった（ルンビニ）」「修行完成者はここで無上の完全なさとりを開かれた（ラッタガヤ）」「修行完成者はここで教えを説き始められた（サールナート）」「修行完成者はここで煩惱の残りの無いニルヴァーナの境地に入られた（クシナーラー）」である。

これまでこの四つの聖地を紹介してきました。機会があればぜひ訪ねてください。

題字：小山実千代（伯東寺坊守） 解説：中川正法（西蓮寺住職）

# 親鸞聖人御誕生八五〇年・ 立教開宗八〇〇年慶讃法要団体参拝旅行に参加して

西蓮寺坊守 中川将子(釋淨蓮)

私たち御笠組の参拝団は、五月八日午後の法要に参加しました。法要をとおして私が心から感動したものをお伝えしたいと思えます。

まずは、御莊殿の素晴らしい色調の打ち敷と鮮やかな季節のお花、また、色とりどりのお供えの見事さに心を打たれました。

次に、ご法話における「阿彌陀如来はそのまま救うと言われるけど、いつまでもそのままというわけではない。阿彌陀如来の教えをよく聞いて少しずつ変わるのですよ」というお言葉です。

特に忘れられないのは、

出勤僧侶方の声明の美しさです。「教行信証」の総序・教巻・信巻・証巻から引かれた親鸞聖人の大切なお言葉を作法に取り入れた正信念仏偈が、御堂全体に響きわたりました。

法要を終えたあとは、ご参加の皆様とともに、親鸞聖人所縁の地を訪問いたしました。

聖人がお得度されて以来、二〇年間にわたってご修行された比叡山延暦寺には、初めての参りでした。聖人の当地でのご修行はいかがなものであったのか、また同じくこの地で修行や勉強に励まれた聖人のよき師法然聖人との出会いまで、どのような思い

のなかで過ごしておられたのかなど、澄み渡る琵琶湖を見つめながら思いに浸っております。

立教開宗の拠り所とされます本典『教行信証』の執筆にあたり引用された多くの経典や註釈類を、親鸞聖人がどれくらいこの比叡山でご覧になられていたのか。最近、若坊守とともに親鸞聖人の書かれたものを読んでおります私には、とても興味深いところではあります。

この度の参拝旅行をとおして、心温まる場面がございました。それは、引率していたいただいたご住職様方の仲の良さとチームワークの素晴らしさです。参加



されたご門徒の皆様もそう感じておられましたし、皆さんとてもうれしそうでした。お陰様で懇親会も楽しく過ごすことができました。皆さんで手話を交えながら「ふるさと」を歌ったことは、忘れられません。本当に有意義で楽しい参拝旅行となりました。有難うございました。合掌



**はせがわ**  
つなぎます。心と、いのちと、人。

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

**太宰府インター店** 太宰府インターグッティそば ☎092-503-0800



ルンビニープラザ  
**お仏壇のつが**

**太宰府店** (駐車場完備)

太宰府市青葉台3丁目27-4 ☎(092)923-8080

# 慶讃法要に参加して

明福寺門徒 松村正秋(釋勝願)

慶讃法要参詣は、自分にとって苦しみと、悩みを抱えた中での参加でした。

で、初日のお勤めが始まりました。

御笠組や、全国の門徒の

想像をはるかに超える大きな大きな本堂の中で、八〇〇人を超える人々によるお正信偈の響きに、まるで宇宙空間にいるようなとても穏やかな不思議な感覚に包まれていきま

ました。この数か月、自分の全く身に覚えのないあるトラブルにまきこまれ、その責任があたかも自分にあるような噂が耳にはいり、とても辛い悔しい日々を送っていました。自分は正しいし、常に人のために尽くしてきたという自負がくずれ、自分を明らかにしたいという葛藤が頭から離れない中

また、数々の巨大な建物

と広大な庭を前にしたとき、これらを造るための労働に携わってこられた膨大な数の、名前も知られていない民衆一人ひとりの尊い願いに思いをよせたとき、浄土真宗という心よりどころに少しだけふれた気がしました。

帰敬式で法名をいただき、大谷本廟で母の分骨を無事に済ませることができました。まだ心の葛藤は続いています。今朝お仏壇の前で「今日も穏やかな心で過ごせたらいいな」とお阿弥陀様に手を合わせています。

また、数々の巨大な建物

と広大な庭を前にしたとき、これらを造るための労働に携わってこられた膨大な数の、名前も知られていない民衆一人ひとりの尊い願いに思いをよせたとき、浄土真宗という心よりどころに少しだけふれた気がしました。

また、数々の巨大な建物

と広大な庭を前にしたとき、これらを造るための労働に携わってこられた膨大な数の、名前も知られていない民衆一人ひとりの尊い願いに思いをよせたとき、浄土真宗という心よりどころに少しだけふれた気がしました。

また、数々の巨大な建物

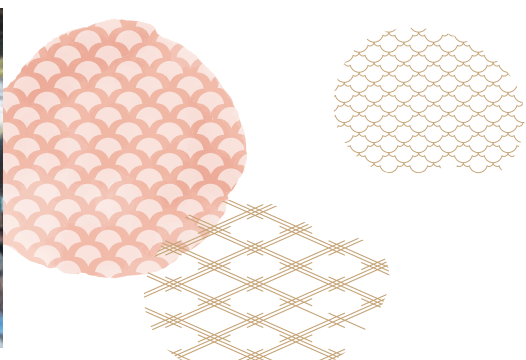
と広大な庭を前にしたとき、これらを造るための労働に携わってこられた膨大な数の、名前も知られていない民衆一人ひとりの尊い願いに思いをよせたとき、浄土真宗という心よりどころに少しだけふれた気がしました。


また、数々の巨大な建物

と広大な庭を前にしたとき、これらを造るための労働に携わってこられた膨大な数の、名前も知られていない民衆一人ひとりの尊い願いに思いをよせたとき、浄土真宗という心よりどころに少しだけふれた気がしました。

また、数々の巨大な建物

と広大な庭を前にしたとき、これらを造るための労働に携わってこられた膨大な数の、名前も知られていない民衆一人ひとりの尊い願いに思いをよせたとき、浄土真宗という心よりどころに少しだけふれた気がしました。



 お仏壇の **よーかどう**

お仏壇・仏具のご相談はお電話を！

筑紫野市二日市中央通商店街  
☎092-924-1111

ひとりで悩まないで話してみませんか  
ビハーラ・ライン・福岡 **こころの電話**  
**092-711-1432**  
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く  
午後1時～午後4時半



# 御笠組巡番 報恩講のご案内

この度当山におきましては、二〇年ぶりに御笠組巡番報恩講法要が巡っております。

江戸時代より約二〇〇年間にわたって受け継がれてきた御笠組の報恩講法要を、親鸞聖人御誕生八五〇年ならびに立教開宗八〇〇年という記念の年にお勤めできますことを有難く感じております。

どうぞ思い難きご勝縁にお誘い合わせの上、ご参詣いただきますようご案内申し上げます。

尚、両日共お昼にお弁当を用意しております。

|           |      |       |
|-----------|------|-------|
| 十月二十一日(土) | 昼席   | 午後一時  |
|           | 夜席   | 午後七時半 |
| 十月二十二日(日) | 昼席   | 午後一時  |
|           | 稚児行列 | 午前十一時 |

講師… 本願寺史料研究所  
上級研究員 岡村喜史師  
萩原 竹林山西蓮寺

## 『親鸞聖人年譜』

| 年号  | 西暦   | 事項                       |
|-----|------|--------------------------|
| 承安3 | 1173 | 京都の日野の地にご誕生              |
| 養和元 | 1181 | 慈円和尚について得度され、比叡山で修行      |
| 建仁元 | 1201 | 法然聖人の専修念仏に帰す             |
| 元久2 | 1205 | 法然聖人から『選択集』を付属され、真影を図画する |
| 承元元 | 1207 | 承元の法難によって越後(新潟県)に流罪      |
| 建保2 | 1214 | 常陸(茨城県)へ入り関東を教化          |

| 年号  | 西暦   | 事項              |
|-----|------|-----------------|
| 元仁元 | 1224 | このころ『教行信証』を撰述   |
| 嘉禎元 | 1235 | このころ帰洛          |
| 宝治2 | 1248 | 『浄土和讃』『高僧和讃』を著す |
| 正嘉2 | 1258 | 『正像末和讃』を著す      |
| 弘長2 | 1263 | ご往生             |

浄土真宗本願寺派(西本願寺)一親鸞聖人を宗祖とする本願寺派 (hongwanji.or.jp)より引用

御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事  
設計・施工  
石のことなら気軽に御相談下さい。

**(有)矢ヶ部石材**

代表取締役 矢ヶ部 清隆  
筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574  
(FAX) 924-8212

**草苑** [SOUEN]

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881  
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

# 第二十四回全国仏教壮年大会に参加して

明福寺門推 岡部喜代治(釋喜證)

二〇二三年四月十六日、私は京都で開催された第二十四回全国仏教壮年大会に参加しました。

全国各地から七九一名、福岡教区から三十九名、御笠組からは、私を含め五名の参加でした。

の参加でした。

今回は、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年記念の年でしたので、前日には、慶讃法要に参拝、御影堂を埋め尽くしての法要の様は荘厳で圧巻でした。

そして前夜の懇親会は、舞妓さんによる京舞で、正に京都の夜を実感し、その後には相愛大学のサクスフォンアンサンブルの素晴らしい演奏に感動しました。大会は、森久元実行副委員長の連盟旗を先頭に三十二教区の連盟旗の入場で始まり、正信偈のおつとめをし、仏教壮年会の綱領を唱和しました。

宗学長が「本願をよりどころとする生き方」と題して記念講演をされました。

コロナの影響で、六年ぶりになった大会でしたが、仲間に見えると言う事は、大会のスローガン「ご縁を

慶び、お念仏とともに」と実感しました。

最後に、我々は、親鸞聖人のみ教えをつないで、お念仏申す朋友の輪を拡げ「御同朋の社会をめざす運動」に取り組み、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現を決意しま

ました。

開会式に続き、仏教壮年会連盟講師の足利一之さんが「俱く一い処いつしよ

んなのよるところ」と題して法話。

続いて、龍谷大学の入澤

実現を決意しま

ます。

ます。



JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき... 24時間承っております

**筑紫農業協同組合** (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市三日市南2-1-3  
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEWにじの会 会員募集!!

～大切な人を送る時、私たちができること～

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 **筑紫葬祭**

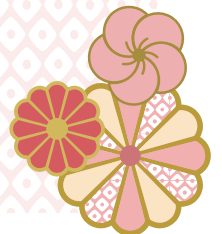
葬儀式場 **セシモニー 筑紫**

CHIKUSHI

本社/セシモニー 筑紫  
〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目3-5  
TEL 092-925-4444  
FAX 092-925-4949

# 第十七回 世界仏教婦人大会

来光寺門徒 木村和子(釋樂聴)



二〇二三年五月十一〜十二日国立京都国際会館において、第十七回世界仏教婦人大会が開催されました。参加者は海外より四〇〇名、国内より二〇〇〇名(福岡教区バス三台、御笠組五名)の参加でした。

二日間の大会が終了しました。この大会に参加出来たことを有難く思います。これから親鸞聖人のみ教えを聞き伝えていかなければという思いで一杯です。

二〇二三年五月十一〜十二日国立京都国際会館において、第十七回世界仏教婦人大会が開催されました。参加者は海外より四〇〇名、国内より二〇〇〇名(福岡教区バス三台、御笠組五名)の参加でした。

二日間の大会が終了しました。この大会に参加出来たことを有難く思います。これから親鸞聖人のみ教えを聞き伝えていかなければという思いで一杯です。

私が世界仏教婦人大会に有る事を知ったのはカナダ大会に参加させて頂いた時でした。カナダ、ハワイ、北米、南米に浄土真宗のお寺が有ることを知りました。世界各国へ移民された祖先の方々が仏様を持つていかれ、親鸞聖人のみ教えを生きる拠りどころとされ二世三世と

二日目の総裁さまご臨席のもと開会式、記念公演はちひろさん(シンガーソングライター)による、九條武子さまの和歌や仏教讃歌を美しい歌声で聴かせて頂きました。その後、森田真円さんより「願いに生かされて」の講題で阿弥陀さまの願いについてご話いただきました。



各宗寺院御用達、仏壇製造販売、墓石設計・施工・販売

**お仏壇のまつお**

有隣会社 松塚仏具本店

|                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 瀬高本店 TEL.0120-62-3721   | 久留米店 TEL.0120-46-5754         |
| FAX.0944-62-5900        | お仏壇工房まつお TEL.0944-62-3721     |
| 大牟田草木店 TEL.0944-57-7141 | 墓石展示場 TEL.0944-62-3721        |
| 春日店 TEL.0120-82-5620    | http://www.matsuobutsudan.com |

大規模葬から家族葬まで…  
もしもの時に安心な…互助会会員募集中

**善光会館 筑紫会場**

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)

# 「子ども食堂に参加して」

青少年育成部 来光寺住職

益永隆寛(釋隆寛)

御笠組の青少年育成部では、その活動の一環として子ども食堂への支援を行っております。

今回は、子ども食堂の「たべりば」さんが久しぶりに子どもたちを集めての活動をされるので、お誘いをいただきましたので参加をさせていただきました。

あいさつやおはなしをさせていただいたあとに、参加した子どもたちとゲームなどをしたのですが、子どもたちは久しぶりの集まりでとても楽しそうにしていました。

スタッフの皆さんからの話を伺いますと、本当は子どもたちと一緒に食事を作って食べたり、子どもたちの話を聞いたり、子どもたちがみんなで一緒に遊んだりという機会や場を作りたいとのこと

ですが、今まではコロナの感染予防ということで、各家庭への食材の配布がメインでの活動だったそうです。

しかし、今後はコロナの規制の緩和とともに、様々な活動に繋がっていきたいとおっしゃっておられました。

スタッフの皆さんからの話を聞いて感じましたのは、このコロナ禍で活動を続けていくことの難しさと、その中でも必要なことや出てくることを常に考えていくという姿勢です。

ここ数年のコロナの影響や私たちの生活の変化によって、いままで当たり前に行っていたお葬儀や法事の形もあつという間に形を変えてしまっています。

また、形が変わったことで、色々なことがらやその意味や

受け止め方も変わってくるように思います。

私たちが日々当たり前のように感じている「おかげさま」

「ありがたい」「もつたいない」などの仏教的な言葉や心・文化や生活ひとつをとっても、私たちが感じていることは当たり前前のことではなく、いま

までの先人の方々が繰り返し繰り返し続けてこられた仏事や活動のおかげであります。

また、このコロナ禍の数年は、時代の変化の中で色々なことを伝えていくことや続けていくことの難しさをしみじみと感じさせられました。

そう思いますと、私たちは浄土真宗八〇〇年の歴史の様々な時代の変化の中で一生懸命お念仏を伝えてくださつた先人たちのご苦勞や努力を

偲ぶとともに、このコロナ禍の

時代だからこそ、私たちもそれにならつていかねばなりません。

子ども食堂は様々な人たちに支えられた子どもたちの未来につながる大切な活動だと改めて思うとともに、私たちお寺の活動も沢山の方々の支援や活動によって支えられた未来に繋がる大切な活動であると改めて感じさせられました。

合掌



本願力にあひぬれば……20

# いつも仏さまに包まれた人生

真光寺衆徒 宇佐美嘉浩(釋嘉心)

青葉の輝きに満ちた季節、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要

団体参拝「五月八日(月)〜五月十日(水)」に真光寺より参加させて頂きました。初日に慶讃法要、二日目からは親鸞聖人がお生まれになった「日野誕生院」、お得度式をされた「青蓮院」、修行をされた「比叡山延暦寺」、墓所の「大谷本廟」などをめぐりました。御笠組のご任職やご門徒の方々とご一緒させて頂き、大変楽しく充実し、とても有難いことでした。

山聖人を偲び、またご足労を感じると共に、学生時代の初心を思い返す事も出来ました。同時に現在では僧籍を頂き、お念仏申させて頂いている私ですが、「いつからお念仏を申させて頂いているのだろうか?」初めてのお念仏はいつだったか?とふと思ったのです。

広島県呉市、会社員の家庭に育った私ですが、浄土真宗の幼稚園にお世話になりました。その時であったのか?祖父母のご法事の時だったのか?それともどなたかのお通夜や葬儀の時だったのか?はつきりとは思いません。

ら、お昼の時間に食前食後のことばで手を合わせていた事はうつつらと覚えていきます。いつだったのか定かではありませんが、家に来られお経が始まりました。しばらくすると鐘がチーン・チーン・チーンと三回鳴らされました。正座で脚も

あーやつと終わった!と思つた瞬間、またお経が始まりました。

は浄土三部経の一つ「仏説阿彌陀經」、そしてお勤め途中に三回鳴らされた鐘の音は、前半終了のリンの音。

私がそれを知ろうが知るまいが、お念仏を申そうが、申す私を包んで下さつておられた。お育て下さつておられた。とあらためて気づかせて頂いた有難い三日間のご縁でした。

ええーまだあるの?

そう言えば、ふざけてそのお坊さんの真似をして「ナンマンドラブツ、ナンマンドラブツ」とお念仏申しておつたなあ…。

今思うと、その時のお勤め

称名

浄土真宗の幼稚園ですか

今思うと、その時のお勤め

浄土真宗の幼稚園ですか

今思うと、その時のお勤め

今思うと、その時のお勤め

今思うと、その時のお勤め



御笠組ホームページ  
<http://www.mikasaso.com/>